

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

## 回答率

事業所職員： 6名回答、回答率 100%  
保護者様： 22名回答、回答率 95%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

- ・指導訓練室などのスペースを考え、日々定員10名でのサービスを提供している。
- ・教室内に大きな段差はないが、入り口が狭いため車椅子を利用する方は入室時に注意が必要である。
- ・法令遵守した職員配置ができていますが、安全管理の観点からも職員配置に気を付け、職員の立ち位置や全体を見る意識を持って支援対応している。

### ○業務改善

- ・教室内ミーティングを毎日行っており、ミーティング内で情報共有を行っている。
- ・それぞれの職員が自身の業務水準を向上させるため、時間を確保しながら研修の受講をしている。

### ○適切な支援の提供

- ・療育活動を毎月のテーマに合わせて全職員が意見を出し合い、分担して行なっている。
- ・季節に合わせた活動や生徒の特性を考慮したプログラムを考える他、生徒に合わせたプログラムを考えている。
- ・書類のダブルチェックをすることで、正しい記録の作成を徹底している。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・前年度からコロナ禍ということもあり、関係機関との連携が難しかったが、今後は相談支援などと連携を強化していく。また、家庭連携を通じて共通理解を図るため生徒の詳細な様子の共有を行なっている。
- ・他教室利用の方については、保護者の同意の得て、教室間で情報共有を行っている。

### ○保護者への説明責任等

- ・毎月ニュースレターで前月の活動報告と次月の活動予定をお知らせしている。
- ・コロナ禍前は、半年に1度の保護者会で日々の活動の報告をしていた。現在は実施が困難な状態が続いているが、今後は感染状況を注視して実施を検討していく。

### ○非常時等の対応

- ・毎月必ず避難訓練を行い、全曜日で均等に開催をし、火事や地震など様々な避難訓練を行っている。
- ・定期的に職員の虐待防止研修の実施をし、振り返りと適切な支援について検討をする時間を設けている。

## 保護者様のご意見

### ○環境・体制整備

- ・室内でも運動療育を取り入れている。
- ・6割の保護者から適切な職員配置であると評価いただいたが、「職員の入れ替わりがあり、生徒の戸惑いが見られた」とのご意見もいただいた。

### ○適切な支援の提供

- ・全てのご家庭から生徒と保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されていると評価いただいた。
- ・活動プログラムについては、9割の保護者に良い評価をしていただいた。

### ○保護者への説明等

- ・保護者に対して、面談や生徒の支援に関する助言等が行われているかについては「いつも丁寧にお話を聞いて下さり、子供の様子も細かく教えてくださっているのととても助かっている。」とご意見をいただいた。
- ・保護者への説明や生徒の様子との共有について、8割の保護者に満足しているとご回答いただいた。
- ・保護者会については、コロナ禍になり開催できていないが「再開して欲しい」とご意見をいただいた。

### ○非常時等の対応

- ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルについては「どちらともいえない」と7割の方が回答していただいたため、周知方法については工夫を検討する必要がある。

### ○満足度

- ・通所を楽しみにしているか、という回答に対して9割の保護者に満足していると評価をしていただいた。
- ・事業所の支援に満足しているか、という質問に対しては、8割の保護者から「はい」との回答をいただき、満足度が高いことがうかがえた。

## 昨年度の振り返り

### ○今年度の取り組む具体策

- ・新規で利用される生徒もいるため、常日頃から生徒・保護者の声に耳を傾け、信頼関係の構築を図っていく。
- ・オンライン等を活用した保護者会を実施するとともに、定期的なブログ更新による情報発信を行う。
- ・コロナ禍ではあるが、徐々に長期休みを利用した課外活動取り組みを行い、体験を通して生徒の成長を育てていく。
- ・コロナの状況にもよるが、近隣の児童館等地域交流の活性化を行う。

### ○改善できた点・まだ残る課題

- ・改善出来た点: 毎日のミーティングを行い、生徒・保護者の変化、状況などをスタッフ間で共有し、保護者との信頼関係構築に努めた。
- ・まだ残る課題: 保護者会の実施やブログの更新などができず、情報発信が出来ていなかった。

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・ミーティング等を通して、職員間で意見が出しやすい環境づくりを行っている。
- ・全職員で支援計画・療育活動等を考え、実行できている。
- ・家庭連携や日常の送迎時に、定期的に保護者の相談を聞く機会を設けている。
- ・活動について、将来定職できるための活動を繰り返し行うとともに新しい活動を取り入れるバランスを考え、活動内容が固定化されないように内容を工夫している。

### ○改善点

- ・保護者会の開催を検討する。
- ・日々教室内ミーティングを行っているが、ヒヤリハットについて職員全員がさらに意識し、より多く提出をしていく。
- ・ブログによる活動報告の実施。

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・職員ミーティングを毎日実施し、生徒の小さな変化にも気付くことができるようにする。
- ・ヒヤリハットの作成と共有をすることで、より安全管理に努める。
- ・職員の専門性向上の為、外部研修の受講や教室内研修の実施をしていく。
- ・生徒一人ひとりに対するよりよい支援方法について検討する時間を設ける。
- ・ブログの更新を行う。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・オンライン等を活用した保護者会を実施するとともに、定期的なブログ更新による情報発信を行う。
- ・ヒヤリハットを職員全員が月に一度提出をする。
- ・教室全体で統一した支援が行えるように支援の検討を行う。
- ・策定会議だけに限らず、日々の変化を共有する時間を設ける。
- ・ブログを月ごとに担当を決めて更新をしていく。
- ・コロナ禍ではあるが、徐々に土曜日や長期休みなど利用して課外活動を計画し、体験を通して生徒の成長を育んでいく。